

JIS

化学製品の色試験方法－第1部： ハーゼン単位色数（白金－コバルトスケール）

JIS K 0071-1 : 2017

(JCIA/JSA)

平成 29 年 11 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒 井 信 介	東京大学
(委員)	伊 藤 弘	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター
	宇 治 公 隆	首都大学東京 (公益社団法人土木学会)
	大 石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 田 慶一郎	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	奥 野 麻衣子	三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	金 丸 淳 子	公益財団法人共用品推進機構
	鎌 田 実	東京大学
	河 村 真紀子	主婦連合会
	佐 伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎 名 武 夫	千葉大学
	高 田 祥 三	早稲田大学
	高 増 潔	東京大学
	千 葉 光 一	関西学院大学
	長 井 寿	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	長 田 三 紀	全国地域婦人団体連絡協議会
	中 村 一	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	奈 良 広 一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西 江 勇 二	一般財団法人研友社
	福 田 泰 和	一般財団法人日本規格協会
	槇 徹 雄	東京都市大学
	三 谷 泰 久	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	東京女子医科大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	和 辻 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 10.10.20 改正：平成 29.11.20

官 報 公 示：平成 29.11.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本化学工業協会

(〒104-0033 東京都中央区新川 1-4-1 住友不動産六甲ビル TEL 03-3297-2550)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 原理	2
5 測定試料の採取及び前処理	2
6 白金－コバルト色標準液の調製	2
7 測色計による測定	3
7.1 一般	3
7.2 装置及び器具	3
7.3 手順	3
8 目視による測定	3
8.1 一般	3
8.2 装置及び器具	3
8.3 手順	4
9 試験結果の表し方	5
10 試験報告書	5
附属書 A (規定) 白金－コバルト色標準液の調製	6
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	9
解 説	12

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本化学工業協会（JCIA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS K 0071-1:1998** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS K 0071 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS K 0071-1 第 1 部：ハーゼン単位色数（白金－コバルトスケール）

JIS K 0071-2 第 2 部：ガードナー色数

JIS K 0071-3 第 3 部：セーボルト色数

JIS K 0071-4 第 4 部：ASTM 色数

化学製品の色試験方法— 第 1 部：ハーゼン単位色数 (白金—コバルトスケール)

Test methods for colour of chemical products— Part 1: Estimation of colour in Hazen units (platinum-cobalt colour scale)

序文

この規格は、1973年に第1版として発行された **ISO 2211** 及び2015年に第3版として発行された **ISO 6271** を基とし、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項又は対応国際規格にはない事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、常温で液体の化学製品、又は加熱して溶融状態になる化学製品の色を試験する方法について規定する。この試験方法は、白金—コバルト色標準液の色と類似の色調をもつ透明液体に適用する。

注記 1 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 2211:1973, Liquid chemical products—Measurement of colour in Hazen units (platinum-cobalt scale)

ISO 6271:2015, Clear liquids—Estimation of colour by the platinum-cobalt colour scale (全体評価：MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

注記 2 化学製品とは、化学反応によって生成する物質全般をさす。個別の製品又は製品群の規格において、この規格と異なる試験方法が規定されている場合は、その規格に従う。

警告 化学製品には、揮発性、爆発性、放射性などの性質をもつものがある。この規格に規定する試験方法を適用する場合は、安全データシート (SDS) などを参考にして、各自の責任において安全、健康及び環境に対する適切な措置をとらなければならない。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS K 0115 吸光光度分析通則

JIS K 0211 分析化学用語（基礎部門）